

進化した畳で地域を守る！？

－ 姫路河川国道事務所 －

たつの市正條地区には揖保川の緊急時の防災対策として、70年以上も前に考案された畳堤と呼ばれる特殊な堤防が今なお残っています。畳堤は普通の堤防とは違い、一見、橋の欄干のように見えるフレームが立ち並び、川の景観を保つことが出来ます。7月豪雨でも活躍した畳堤ですが、近年水防を担う地域の方々の高齢化がすすみ、畳の設置が難しくなっています。そこで今回、地域の方々を支援するべく、新しく開発した軽くて持ち運びやすいハイブリットパネルについて、地域の方々と意見交換を行いました。

概要

対象河川：揖保川水系揖保川

位置図

- 日時：平成31年1月24日（木）10:30～12:00
 - 場所：たつの市揖保川町（正條地区）
 - 参加機関：正條自治会
国土交通省 姫路河川国道事務所
たつの市 危機管理室
（一社）リバーテクノ研究会
- 約20人



ハイブリットパネル（ポリカーボネート製）



パネルの設置



水密性の確認



正條地区の畳堤、7月豪雨でも活躍



参加した皆さんと集合写真

地域の方々の感想

- ・畳より軽くなり、持ち運びやすくなった。
- ・道路の開口部にも作ってほしい。
- ・保管しやすいように、重ねられるようにしてほしい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947
姫路市北条1-250
TEL 079-282-8211

